



2013/05/05 第62回 黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会

Match Result



試合番号 **105**

A 試合会場レポート

■会場 ボディメーカーコロシウム(大阪市) 試合開始: 15:10 試合時間 1:50
 観客数 3,800 主審: 印藤 智一 副審: 小野 将人



東レアローズ

■監督: 小林 敦
 ■コーチ: 山本 太二

■第1セット出場メンバー

5 米山	12 ホヨビツ	17 篠田
1 富松	4 近藤	16 角田
18 (鈴木)		8 (瀬戸口)

()内は交代選手
 ■リベロ: 2 田辺 修

得点	セット時間	得点
25	1set(26')	19
15	2set(23')	25
13	3set(21')	25
26	4set(31')	28

79	Total	97
1	セット数	3



サントリーサンバーズ

■監督: パオロ モンタニャーニ
 ■コーチ: 荻野 正二

■第1セット出場メンバー

9 阿部	1 山村	21 松崎
	20 (米山)	5 (柴小屋)
7 越川	12 塩田	18 ウオレス
8 (金子)		

()内は交代選手
 ■リベロ: 15 佐別當 賢治

Match Comment

男子準決勝第1試合、サントリーサンバーズ対東レアローズの戦いは壮絶な点の取り合いとなった。両チームとも全員で拾って繋ぐバレーを展開するが、米山、ホヨビツにボールを集めた東レが先取る。サントリーは、阿部の絶妙なトスワークで相手のブロック陣を翻弄し、山村や塩田の速攻、途中出場した金子のスパイクが要所で決まる。ウオレスにもボールを集め攻撃を仕掛ける。東レも徐々にブロックが機能し、点を重ねるが、終盤サントリーはコートに戻った越川が自らスパイクを決め、サービスエースで最後の得点をたたき出し勝利を決めた。サントリーは11年ぶりの決勝に駒を進めた。

Coach Comment: 小林 敦(東レアローズ)

サーブレシーブが安定せず、非常に厳しゲームとなった。
 今シーズンの反省を活かし、来シーズンは良い結果を残せるよう、今からまた準備を進めようと思う。
 沢山の応援、ありがとうございました。
 今後も宜しくお願いします。

Coach Comment: パオロ モンタニャーニ(サントリーサンバーズ)

いよいよ決勝戦を戦える。
 チーム全員が偉大なスピリットを持ってこの試合に挑んだ。そして、”自分達は東レアローズよりも強いんだ”という気持ちを忘れなかった。

■作成者: 作田 和美

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



2013/05/05 第62回 黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会

Match Result



試合番号 **106**

A 試合会場レポート

■会場 ボディメーカーコロシウム(大阪市) 試合開始: 17:30 試合時間 2:24
 観客数 3,500 主審: 千代延 靖夫 副審: 村上 成司



堺ブレイザーズ

■監督: 酒井 新悟
 ■コーチ: 長江 祥司

■第1セット出場メンバー

6 ペピチ	1 松本	10 千々木
3 石島	12 横田	19 今村
	5 (内藤)	18 (大道)

()内は交代選手
 ■リベロ: 2 井上 裕介

得点 セット時間 得点

25 1set(27') 22

28 2set(31') 26

19 3set(27') 25

21 4set(25') 25

19 5set(22') 21

112 **Total** 119

2 セット数 **3**



パナソニック パンサーズ

■監督: 南部 正司
 ■コーチ: 真保 綱一郎

■第1セット出場メンバー

15 福澤	1 清水	3 山添
	16 (大竹)	13 (柰田)
6 白澤	10 深津	8 川村
14 (渡邊)	5 (山本)	

()内は交代選手
 ■リベロ: 17 永野 健

■Match Comment

男子準決勝第2試合は、前回の覇者であるパナソニックパンサーズと2012/13Vプレミアリーグ覇者の堺ブレイザーズとの一戦は、最終セットもデュースにもつれ込むほどの壮絶な試合となった。

堺は、石島、ペピチの強烈なアタックやサーブが要所で決まり第1、第2セットを連取した。

一方パナソニックは福澤を中心とした攻撃に加え、途中出場の柰田、山本(隆)の活躍により第3、第4セットを奪い返した。

最終セットは、パナソニックが先にマッチポイントを迎えたが、堺はペピチ、石島の連続ブロックが決まり逆にマッチポイントを握った。その後一進一退の攻防が続くが、パナソニックは山本(隆)のサーブエースで4度目のマッチポイントを奪うと、堺の猛攻を振り切り接戦を制した。

パナソニックは大会2連覇に大手をかけた。

■Coach Comment: 酒井 新悟(堺ブレイザーズ)

今日の試合、前半は効果的なサーブから得点する場面をつくる事ができたが、後半は相手のサーブブレイク陣を崩す事ができず、サイドアウトで主導権を握られてしまった。

非常にタイトなスケジュールの中、選手達は最後までチーム一丸となって、よく戦ってくれたと思う。また、今大会を通じて応援して下さいましたサポーターの皆様に感謝したい。

■Coach Comment: 南部 正司(パナソニック パンサーズ)

第1セット、堺ブレイザーズの強力なブロックで苦しんだが、途中出場の山本(隆)、大竹がチームのムードを切り替えてくれた。

本日もたくさんのご声援、誠にありがとうございました。

■作成者: 佐伯 昌昭

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



■会場 ボディメーカーコロシウム(大阪市) 試合開始: 14:05 試合時間 2:11
 観客数 3,800 主審: 村上 成司 副審: 千代延 靖夫



サントリーサンバーズ

■監督 : パオロ モンタニャーニ
 ■コーチ: 荻野 正二

■第1セット出場メンバー

18 ウォレス	12 塩田	7 越川
	2 (鈴木)	
8 金子	1 山村	9 阿部
		19 (栗山)

()内は交代選手

■リベロ: 15 佐別當 賢治

得点	セット時間	得点
23	1set(27')	25
25	2set(22')	16
20	3set(25')	25
26	4set(28')	24
15	5set(17')	13

109	Total	103
3	セット数	2



パナソニック パンサーズ

■監督 : 南部 正司
 ■コーチ: 真保 綱一郎

■第1セット出場メンバー

15 福澤	5 山本	13 柰田
3 山添	16 大竹	8 川村
	10 (深津)	11 (タヴァレス)

()内は交代選手

■リベロ: 17 永野 健

■Match Comment

13年ぶりの地元大阪勢同士の対決となった男子決勝戦は、大観衆が見守る中手に汗握る大接戦の好ゲームとなった。連覇を狙うパナソニックパンサーズは、序盤から福澤、山本(隆)がパワフルなスパイクを決め、波に乗る。対するサントリーサンバーズは、山村、塩田に加え、途中出場の鈴木らミドルブロッカー陣のブロックが徐々に機能し始める。粘り強いブロックからリベロ佐別當が拾ったボールをセッター阿部が巧みに操った。

お互い2セットずつ取り合い、迎えた最終セットも、最後の最後まで勝負の行方がわからない壮絶な展開となったが、大熱戦に終止符を打ったのは、サントリー ウォレスのスパイクだった。

サントリーは、地元大阪の大応援団の前で、13年ぶり6回目の優勝を手にした。

■Coach Comment: パオロ モンタニャーニ(サントリーサンバーズ)

選手全員、そしてチームを支えてくれた全ての人に感謝したい。

偉大なチームとの戦いに勝つことができた。

■Coach Comment: 南部 正司(パナソニック パンサーズ)

第4セット以降、ウォレス選手のスパイク、サーブに苦しめられたのが大きな敗因となった。

自チームからミスを出してしまうと今日のような試合で勝つことはできない。

来季に向けて、今シーズンの反省をしっかりと強化していく。

たくさんのご声援、誠にありがとうございました。